

新庁舎整備事業市民説明会 2021
意見交換結果概要（11月23日全地区開催分）

○日 時 令和3年11月23日（火）午後7時～8時30分

○会 場 生涯学習センター201

○出席者 17人（参加市民）

○内 容

□【質問・意見・提案等】

⇒【回答】

□防災拠点を美濃太田駅北側に整備すると聞いていたが、駅の南側の新庁舎が拠点になるのか。

⇒基本となる防災拠点は新庁舎と考えている。文化の森には、自家発電設備、コンピュータのサーバー等の整備を行い、防災拠点の補完的な施設として想定している。

□2029年度に新丸山ダムは完成予定と聞いているが、ハザードマップはどう変わるのか。

⇒今年度新丸山ダムの本体工事が着工する。現在よりもダムの貯水能力は3.6倍になるが、想定される最大規模の降雨の場合は、まずは安全に逃げるということを進め、総合的な治水、浸水対策を進めていく。

□駅前に新庁舎を整備し、駅前通りが歩行者天国のようになることを想定しているが、費用はどのくらいか。また実現性はどのくらいあるのか。

⇒新庁舎の整備と市街地開発は同時進行で進めていきたい。仮に新庁舎が駅前にできなくても市街地再開発事業、都市計画道路整備は行われ、相応の市の負担は発生する。

□市が掲げる「Walkable City Minokamo」の観点から行くと、前平周辺が適切だと思う。前平周辺に建設するとどのようなメリットがあるか。

⇒「歩く」「食べる」「住む」といった機能を、新しいまちづくりの中で考えたい。民間企業等と連携していくことを考えると駅周辺に建設することが適切であると判断した。

□利便性の評価について医療施設を考慮する際は、施設（病院）に行く人の数が大切ではないか。

⇒医療施設の他にも公共施設、商業施設などを鑑みて、利便性全体のトレンドを測って判断している。

□説明会があることの周知が不十分だと思う。対象者（定員）が少ない。

⇒コロナ禍でより良い方法を検討し、最善の形として判断し、開催した。市内一斉に案内するために新聞折込チラシでお知らせした。また、前回説明会の参加者数よりも多い人数を定員として募集している。今後も出前講座を開催していく。

□4つの候補地があったが、駅の北側（スーパー周辺）は建設不可能。候補地から除外すべきではなかったのか。

⇒新庁舎整備基本構想策定委員会から答申を得た段階では可能であった。急速に開発が進んだこともあるが、決して最初から不可能な土地を選んだわけではない。

□（美濃太田駅周辺は）ライフサイクルコストが一番低い候補地とされているが確かか。

⇒詳細な設計ではないため、多少の金額のずれは生じるかもしれないが、一つひとつ積み上げて計算しており、傾向は変わらないと思われる。庁舎建設に対する補助金はないが、周辺の整備（コンベンション機能など）には補助金を得られることも駅周辺で整備する優位性である。

□市民の代表としての市議会議員がいるため、市議会で決めてよいと思う。費用については、資料をみても100パーセント理解できないが信じて任せる形でよいのでは。

⇒費用の積算は、繰り返し計算しているが、さらに研究し、これからも責任をもって出していきたい。また、一人でも多くの方と意見交換をして進めていきたいと考えている。

□美濃太田駅前の整備にあたっては、地権者の意見等もあり都市計画と一緒に進めるには非常に時間がかかるのではないか。また公共交通機関を使って市役所へ来る人がいるのか疑問である。

⇒市街地再開発事業は、これから手続き等まだまだ時間がかかると思われる。今回は市が中心ではなく、民間が主体となった事業であり、地権者の同意を得ながら進めているので進捗が早くなるのでは、と期待している。市としては、これからの子ども達が住みたい、行ってみたいと思うまちづくりを進めていきたい。